

Tuuli

トゥーリ

2017年10月15日発行



至誠合同バザーのお礼

昨年のバザーが大雨に見舞われてしまったことは記憶に新しいことです。

「今年はどうかお天気に恵まれますように。。。」祈るような気持ちでいましたが、週間天気予報で10月14日に雨マークが！予報から雨マークが消えることを日々願っていましたが、雨マークは消えぬままとうとう当日を迎えました。バザーは雨天決行です。

9時過ぎからボランティアさんが集まって下さいました。9時30分にはほぼ全員がそろい、旭ホーム長からボランティアさんにご挨拶がりましたが、旭ホーム長35年の経験の中で2年連続で雨になったのは、初めてのことだそうです。

そして、10時に橋本理事長の太鼓の合図で開会です。ところが不幸中の幸いなことに、その頃には、雨は小康状態に。その後も、さほど降られることもなく終えることができました。

ボランティアの皆様の日頃の行いに感謝です！

昨年はボランティアさんに配属先に行って頂いたものの、大雨で外へ出るのもままならず、お部屋でお話し相手をお願いしたり、玄関先まで来たものの、大雨で外出をあきらめバザーの様子を見るだけでフロアにUターンしたりという状態でしたが、今年は大勢の利用者の方々にお買い物やバザーくじ等を楽しんで頂くことができました。中には、この日を待ちかねてたくさんの買い物をなさり、その買ったものを本当に嬉しそうに見せて下さった方もいらっしゃいました。

その様な目を輝かせた姿を見ることができたのも、ボランティアの皆様のご尽力のお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は雨に降られただけでなく、この時期とは思えないほどの寒い1日でしたが、悪天候の中、90名近くもの方々がボランティア活動に参加して下さいました。本当にありがとうございました！来年もご協力お願い致します。



「My 食器展」のお知らせ



現在至誠特養で陶芸教室を月2回行って下さっているボランティアのジョージ兼路さんが、今月スオミケアハウス食堂にて「My食器展」と題して食器展を開催することになりました。

私たちにとって食べることは、人生の楽しみであり、日常にとって欠かせないものです。そして、自分が食べるものを好きな器に盛り付けて食べることも、とても幸せな時間であると思います。現代は、プラスチックの器が日常的に重宝されていますが、陶器の器は、手作りでひとつひとつ形の違った、温かみのある風合いがあります。

陶器は、手作りすると時間もかかりますが、ひとりひとりの好みにあわせて作ることもでき持ち手をつけるなど使いやすくする工夫をすることもできます。

ぜひこの機会に足を運んでいただき、陶器の良さを感じて頂けたらと思います。

場 所 至誠ホーム「スオミレストラン」にて
期 間 10月23日(月)～11月2日(木)
作品作家 数田和泉さん、ジョージ兼路さん

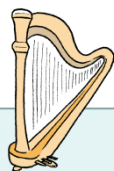


タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。



(祈りのたて琴) リラプレカリア

至誠ホームでは多くのグループの方々が活動をして下さっています。今回は、至誠特養3階で月2回「リラプレカリア」の活動をして下さっている村田さんのご紹介をしたいと思います。



リラプレカリア、と言っても何の事だかわからない方がいらっしゃると思います。リラプレカリアは病床の方や心身に痛みを持つ方に、ハーブと歌による、祈りをお届けする形です。その形式は、11世紀のフランスに建てられたクルニュー修道院の修道士達が行った病床の音楽死生学が土台となっております。当時の修道士は、最後の病床を迎える貧しい方々の為に、個人の存在をととても大切に、快適なベッドと手厚い看護を施したと聞いております。その際に終末期を迎える方々に音楽、主に歌で病床の方を慰めたそうです。又、聖書に登場するダビデの心情、背景、又ハーブでもって王を慰められた由来等を軸に精神性を学んだりしております。

希望が持てない方々には言葉では届かない時もあり、その様な方に祈りを込めて寄り添い、慰め出来るベストな形を奉仕したいと言う気持ちで生まれた研修制度ですが、当初、日本ではなかなか認知されていなかった様です。設立されて10年以上経ちましたが、少しずつ認知され始めてきました。アメリカで既に音楽死生学を学ばれた、リラプレカリア設立者、キャロル・サック氏が山谷のホスピス「希望の家」で始められたのが最初でした。その後、是非日本人にも学ばせていただきたいと言う事で研修制度が出来た様です。

私達は利用者さんに「心の旅」をしていただく事をコンセプトの一つにしております。利用者さんが不安や孤独におちいっている時にどの様な曲を提供したらよいか？これは一つのポイントになっています。また、利用者さんが知らない曲をあえて選曲します。そして日本語も使いません。そして明るい曲でもなく、暗い曲でもない旋律を奏でます。これは利用者さんに曲のイメージ性を押し付けなくて、自由にイメージーションしてもらおう為です。

そして、もう一つのポイントは呼吸に合わせてリズムを取ります。これはその人の生体エネルギーよりも早いリズムを刻んでしまうと、心地よさから遠ざかるからです。なので、私達の音楽は普通の音楽にならない時もあります。良く「音楽療法」と言う言葉を聞きますが「音楽療法」とも違う訳です。正に、利用者さんが指揮をふるっている訳です。

★リラプレカリアの活動は、入居者のベッドサイドにハーブを持って「あなたはとても大事な存在です。愛されています。」というメッセージが込められています。利用者の皆様の側に寄り添い、心安らかな時間を提供して下さっています。ハーブが奏でる素敵な音色が利用者の皆様の心に与えているものは、皆様の心に深く響き、そして言葉では表現することのできない奥深いものであると思います。

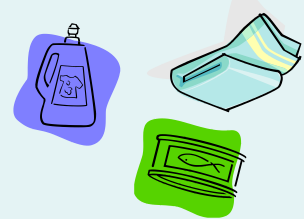


第4回至誠ホーム調布バザーのお知らせ



調布若葉ケアセンターと調布柴崎ケアセンター合同で調布バザーを行います。錦のバザーと同様に新品衣料、雑貨、石鹸などのご寄附も錦で受け付けております。立川からは少し距離がありますが、見学方々、バザーにお出かけ下さい。

◆場所：至誠ホーム調布若葉ケアセンター
調布市若葉町3-1-5 ☎03-3326-7600



◆日時：11月19日(日) 10:30~14:00 (雨天決行)

模擬店、手作り作品、お遊びコーナー、介護相談、フリーマーケットなど盛りだくさんです。どうぞお誘いあわせの上、お越しください！

10月に入り、雨が本当によく降りますね・・・

天候が悪い中でも、ボランティアの皆様はホームに足を運んでくださり、ここに来ると元気をいっぱいもらえるのよ、といった言葉を頂くと、心が温まり寒さも忘れてしまいます。ボランティアの皆様の温かいお気持ちに感謝です！

